

白神山地世界自然遺産登録 20周年を迎えて

—白神のブナ林を後世に引き継ぐ—

青森県と秋田県の県境にまたがる白神山地は、原生的なブナ天然林が大量に維持されていることから、平成5年、世界遺産条約に基づき世界自然遺産として登録されました。白神山地世界遺産地域(写真1)は、全域が国有林であり、東北森林管理局では、遺産地域を厳格に保全管理するとともに、自然の恵みを活かした地域振興に貢献するため、様々な取組を進めています。

特に、平成25年12月には、白神山地が登録20周年を迎えることから、この機会に白神山地の素晴らしさと保全の重要性を多くの人々に知っていただくよう、地域の方々と連携して様々な記念行事を展開しています。



写真1

二ツ森から世界遺産地域を望む



写真2

横断幕を披露する藤里小学校児童

平成24年12月27日、東北森林管理局において、一連の記念行事のキックオフイベントとして、白神山地におけるこれまでの保全管理の取組や平成25年に予定している登録20周年事業について紹介を行うオープニングセレモニーを開催しました。

セレモニーには、白神山地の麓に位置する秋田県藤里町の藤里小学校5年生15名が参加し、局・署等の庁舎に掲示する20周年記念横断幕と官用車に貼付する記念マグネットシートを披露し

オープニングセレモニーの開催

白神山地のブナ林や雄大な山岳景観の四季の移り変わりを、遠隔地でも楽しんでいただけるよう、白神岳の山頂が一望できる青森県深浦町内に定点ラ

ライブカメラの設置

てくれました(写真2,3)。

さらに、白神山地を活用した森林環境学習の成果を「白神山地の木について」、「田苗代湿原と小動物について」、「白神山地の動物について」、「白神山地の四季、観光客、自然を守る人」の4つのテーマで発表し、関係者の尽力により守られてきた貴重な森であることを紹介してくれました。



写真3

マグネットシートを掲げる藤里小学校児童



写真5

一日ボランティア巡視員活動(暗門の滝)

8月3日、世界遺産地域に所在する暗門の滝(青森県側)、一ツ森(秋田県側)の2コースにおいて、一般の方々から公募した「一日ボランティア巡視員」と地元巡視員が合同でパトロール活動を行いました(写真5、6)。

一日ボランティア巡視員によるパトロール



写真4

白神山地ライブカメラの画像

ライブカメラを新たに設置し、平成25年5月から東北森林管理局ホームページを通じてリアルタイムで画像(写真4)を発信しています。

9月7日、秋田市内において、白神山地と地域との関わりや白神山地に関する調査研究について、有識者や地元で活動されている方々からお話しいただく、世界自然遺産登録20周年記念フォーラム「白神山地の恵みを活かして」を開催しました(写真7)。

20周年記念フォーラムの開催

然に触れながら、森林生態系を保護する重要性を学んでいました。



写真6

一日ボランティア巡視員活動(二ツ森)



写真7

20周年記念フォーラム

査研究について、お話しいただきました。また、林野庁から、白神山地での保全管理等の取組とともに、同じく登録20周年を迎えている屋久島での取組について報告しました。さらに、写真家の後藤千春氏から白神山地の見所と楽しみ方について、白神マタギ舎の小池幸雄氏から白神山地でのマタギの活動について、(有)白神山美水館の太田正光氏から白神山地の水が美味しい理由について、二ツ森高校の清水達広さんから二ツ森高校での白神プロジェクトの取組について、講演いただきました。

一般の方々など約220名が参加し、白神山地の価値や魅力などを再認識していただく機会となりました。

終わりに

白神山地では、これまで関係機関や地域関係者の様々な連携・協力により、広大なブナ林などの原生的な自然環境が保全されてきました。

一方で、近年は、遺産地域周辺部で二ホンジカが目撃されるなど、遺産地域を取り巻く状況にも変化がみられます。

このような現状に合わせ、最新の知見を踏まえた順応的の管理を更に進めていくため、林野庁では、関係機関と共同して、本年10月に新しい白神山地世界遺産地域管理計画を策定しました。

新しい管理計画では新たに青森県と秋田県が策定者として参画し、関係機関の連携の下、遺産地域の厳格な保全管理に向けたモニタリングの実施や、自然に配慮したエコツーリズムの推進などに取り組むこととしています。

東北森林管理局では、記念事業の実施を通じて、多くの方々によるその価値や魅力を再認識いただいた白神山地について、新たな管理計画を踏まえて、遺産地域の貴重な自然環境を後世に引き継ぐよう保全管理に取り組んで参ります。